

弘前大学医学部附属病院で診療を受けられた皆様へ

研究機関名： 弘前大学医学部附属病院

麻酔科

研究責任者： 谷田 幸陽

当院では患者さんの試料・情報を利用させていただき、下記の臨床研究を弘前大学大学院医学研究科倫理委員会の承認ならびに研究機関の長の許可のもと、倫理指針および法令を遵守して実施します。

本研究への協力を望まれない患者さんは、下記連絡先までお申し出くださいますようお願いいたします。

臨床研究名称 希釈式自己血輸血が開腹婦人科手術における術後悪心嘔吐に与える影響

研究の目的

HPI モニターは、動脈圧波形などの循環データを解析し、低血圧が起こる前にその可能性を数値で知らせる予測モニターである。その低血圧を予測する HPI モニターを使用し術中低血圧を予防することによって、術後の吐き気や嘔吐の頻度が低下することが報告されました。また、希釈式自己血輸血は心臓外科・腹部外科を含む様々な手術において、術中術後の同種血輸血の頻度や量を減らすことが知られている一方で、脱血による血液希釈および低血圧が誘発されます。低血圧は腸管循環の低下をきたし、その結果として術後の吐き気や嘔吐を引き起こしている可能性があります。本研究では希釈式自己血輸血と吐き気や嘔吐の関係性を調べることによって、希釈式自己血輸血を行う際の悪心嘔吐に対する予防法について検討することを目的とします。

研究実施期間 実施許可日 ～ 2027 年 12 月 31 日

対象となる方 2019 年 10 月 1 日から 2021 年 12 月 31 日までの期間、当院婦人科で全身麻酔下に開腹手術を受けた方。

利用させていただきたい試料・情報について

当院の過去の麻酔記録および術後回診の記録を参照し、年齢や性別、身長・体重、喫煙歴の有無や背景疾患、手術内容や希釈式自己血輸血施行の有無、術中術後の麻薬や制吐剤等の薬剤投与量、術後の悪心嘔吐の有無について、標記研究のために利用します。

外部への試料・情報の提供

予定されておりません。

本研究課題について、より詳細な内容をお知りになりたい場合は下記へご連絡ください。患者さん／その代理人の方から、試料・情報の利用停止を求める申し出があった場合は、当該患者さんの試料・情報については対象から除外します。ただし、連絡いただいた時点で既

に研究成果公表済の場合は、該当者のデータのみを削除する等の対応は出来かねますので、
ご了承ください。

本件連絡先

麻酔科・谷田 幸陽 080-2802-8028 / h25gm102@hirosaki-u.ac.jp